

各関係機関の長 殿

鹿児島県病害虫防除所長

令和6年度 技術情報第8号(ムツスジアシナガゾウムシに対する防除農薬：植物防疫法第29条第1項の規定に基づく措置)について (送付)



下記のとおり取りまとめましたので、周知及びご指導をよろしくお願いいたします。なお、本情報は、病害虫防除所ホームページ (<https://www.pref.kagoshima.jp/ag13/kiad/boujoshou/>) にも掲載しています。

令和6年度 技術情報第8号

1 対象病害虫 ムツスジアシナガゾウムシ

2 対象作物 サツマイモ、チャ

3 防除農薬 (植物防疫法第29条第1項の規定)

現在、ムツスジアシナガゾウムシに対する登録農薬はないが、サツマイモ及びチャでは、植物防疫法第29条1項に基づく措置として、発生ほ場では下記の農薬登録内容を遵守し、農薬による防除を行う。なお、使用にあたってはラベルを確認し、農薬の適用作物、使用方法、使用時期、散布液量、希釈倍数、使用量、使用回数を守ることで、出荷停止等、流通に支障が生じることはない。

(1) サツマイモの農薬登録内容*

商品名	使用時期	使用回数	希釈倍数	適用病害虫																		
				アブラムシ類	コナジラミ類	ヨツモンカメノコハムシ	ハダニ類	ナカジロシタバ	シロイチモジヨトウ	ヒルガオハモグリガ	ハスモンヨトウ	イモコガ	ヨトウムシ	アリモドキゾウムシ	イモゾウムシ							
ベネビアOD	収穫7日前まで	3回以内	4000		○		○		○	○			○	○								
コテツフロアブル	収穫前日まで	2回以内	2000			○				○												
			2000~4000		○		○															
グレーシア乳剤	収穫7日前まで	2回以内	2000~3000	○		○	○			○			○	○								
スミチオン乳剤	収穫7日前まで	5回以内	1000	○		○							○									

(2) チャの農薬登録内容*

商品名	使用時期	使用回数	希釈倍数	適用病害虫																		
				コミカンアブラムシ	チャノキイロアザミウマ	ツマグロアオカスミカメ	チャノミドリヒメヨコバイ	チャトゲコナジラミ	カンザワハダニ	サビダニ類	チャノホコリダニ	チャノナガサビダニ	コカクモンハマキ	チャハマキ	チャノホソガ	シヤクトリムシ類	ヨモギエダシヤク	ハスモンヨトウ	ミノガ類	マダラカサハラハムシ		
エクシレルSE	摘採7日前まで	1回以内	2000	○	○										○	○	○	○	○	○		
コテツフロアブル	摘採7日前まで	2回以内	2000	○	○	○	○	○			○	○					○					○
			2000~3000						○	○												
グレーシア乳剤	摘採14日前まで	1回以内	2000	○	○	○									○	○						○
			2000																			
スミチオン乳剤	摘採21日前まで	1回以内	1000																		○	
			700~1000													○	○					

※(1), (2)とも農薬登録一覧表 (2023年版9月) から引用

4 防除上注意すべき事項

- (1) サツマイモ、チャで防除の際は、安全使用基準を遵守し、周囲にドリフトしないように十分注意する。
- (2) 防除を行う際は、周辺ほ場の生産者と十分に連携をとり、収穫間近のほ場では、農薬散布を避ける。特に、周辺に茶園のあるサツマイモほ場では、上記3の(2)のチャの農薬登録内容の使用時期等に留意し、防除を行う。
- (3) ムツスジアシナガゾウムシはサツマイモほ場に隣接する一部の茶園でも発生し、食害が認められている。被害を確認した茶園では、使用前日数を遵守し、防除を行う。

5 参考資料（前述の農薬を選択した根拠）

ムツスジアシナガゾウムシ成虫に対する殺虫効果試験(室内試験)

●結果の概要

①ベネビアOD, コテツフロアブル, グレーシア乳剤, スミチオン乳剤は成虫に対して殺虫効果が高かった(表1)。

表1 各種農薬のムツスジアシナガゾウムシ成虫に対する殺虫効果

供試農薬名	RAC コード	有効成分名	希釈倍数	死亡率(%)			
				24h	48h	72h	96h
ベネビアOD	28	シアントラニプロール	4,000	90	90	90	100
コテツフロアブル	13	クロルフェピル	2,000	50	90	100	100
グレーシア乳剤	30	フルキサメト	2,000	100	100	100	100
スミチオン乳剤	1B	MEP	1,000	95	100	100	100
無処理(水道水)	-	-	-	0	0	0	0

1) ムツスジアシナガゾウムシ成虫の採取場所：曾於郡大崎町サツマイモほ場(令和6年4月30日)

2) 試験方法：所定倍数に希釈した薬液に先端から約7cm(3~4節)で切断し、展開葉を切除したサツマイモ苗(5本)を30秒間浸漬して、風乾した(食餌浸漬法)。処理後の苗をろ紙を敷いた飼育容器(直径9cm)内に置き、成虫を10頭放飼した(2反復)。放飼後の飼育容器は25℃設定の室内に静置し、処理24, 48, 72および96時間後に生死(苦悶虫は死亡虫を含む)を調査した。

3) 農薬は、ベネビアOD, コテツフロアブル, グレーシア乳剤, スミチオン乳剤他6剤を供試した。

4) 調査期間：令和6年5月1日~5月5日

5) ベネビアOD(適用作物：サツマイモ)とエクシレルSE(適用作物：チャ)はシアントラニプロールで同成分であるが、分量は前者が10.3%、後者が10.2%と異なる。